



2023年11月14日

各 位

会社名 大和自動車交通株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大塚 一基  
(コード番号 9082 スタンダード)  
問合せ先 専務取締役専務執行役員 齋藤 康典  
管理本部長  
(TEL. 03 - 6757 - 7164)

## 2024年3月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値の差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)の連結業績予想と本日公表の実績値に下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。また、2024年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

業績予想値と実績値の差異について

#### 1. 2024年3月期第2四半期累計期間 業績予想数値との差異(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,000	百万円 90	百万円 140	百万円 90	円 銭 20.86
今回実績(B)	9,188	△241	△176	△232	△53.58
増減額(B-A)	188	△331	△316	△322	—
増減率(%)	2.1	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	8,578	51	113	78	18.39

#### 2. 差異の理由

当第2四半期累計期間の業績につきましては、主要事業である旅客自動車運送事業において、タクシードライバー不足が深刻な状況のなか、稼働率の悪化が顕著な状況となりました。2022年11月の運賃値上げが寄与し売上高は増収となりましたが、稼働率の悪化に伴い乗務員1人当たりの稼働売上が増加した結果、乗務員賞与を含む人件費の増加が予想以上に拡大しました。また、不動産事業において京都府京都市下京区の居住用賃貸収益物件の取得費用131百万円(主に建物に係る控除対象外消費税等を一括費用計上)の発生及び連結子会社が保有する貸付債権に貸倒引当金51百万円を計上したことなどから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益において損失となりました。

## 業績予想の修正について

### 1. 2024年3月期連結業績予想値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,200	百万円 200	百万円 250	百万円 160	円 銭 37.09
今回修正予想 (B)	18,300	△450	△350	△500	△115.01
増減額 (B - A)	100	△650	△600	△660	—
増減率 (%)	0.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	17,795	80	196	177	41.50

### 2. 修正の理由

通期の業績予想につきましては、乗務員不足解消に向けた採用体制の再構築、営業所の統廃合などを含むタクシー事業の構造改革及び不動産投資などによる事業の複線化などを実施してまいります。ただし、引き続き乗務員不足の状態は、年度末までには解消されないことを想定した予想といたしました。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上